



特別寄稿 「SDGs 未来都市」 宇部市の取り組み

宇部市が SDGs 未来都市に選定

今年 6 月、内閣府は、SDGs の達成に向けた優れた取組を提案する 29 都市を「SDGs 未来都市」に選定し、宇部市がその一つに選定されました。SDGs とは、2015 年 9 月に、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて掲げられた、2030 年までに先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際目標であり、持続可能な世界を実現するための 17 のゴールです。持続可能な開発とは「将来世代のニーズを損なわずに、現世代のニーズを満たす開発」と定義され、経済、社会、環境の統合的向上を目指すものです。

SDGs の達成においては、市民・企業等、様々な主体が担い手となります。中でも自治体は、持続可能な開発に必要な情報やノウハウを数多く有し、市民・企業等の活動と連携・支援する存在であることから、SDGs の達成において重要な役割を担っています。

SDGs 未来都市である宇部市は、SDGs 達成に向けたトップランナーとして、国内はもちろん、国際的な連携を通じて世界に対して持続可能な開発への貢献を図ります。

「人財が宝」みんなでつくる宇部 SDGs

～「共存同栄・協同一致」の更なる進化～

宇部市は、今年 8 月に「SDGs 未来都市計画」を策定しました。当計画は、現在宇部市が進める「第四次総合計画後期実行計画」の 5 つのイメージを「2030 年のあるべき姿」とし、持続可能なまちづくりとともに SDGs の達成を目指すものとなっています。

「宇部 SDGs」の最大の特長は、持続可能な社会を担う「人財育成」と「共存同栄・協同一致」の精神を基調とした多様な主体の係連にあります。

宇部市総合戦略局 政策企画グループ 大西義紀



本市内では既に「ESD うべ推進協議会」などが持続可能な社会の担い手づくりに取り組んでいますが、真に持続可能な開発を実現するには、市民一人ひとりが SDGs の達成を意識し、次世代を担う子どもや若者が希望を抱きチャレンジできる環境や支援体制を地域全体で構築しなければなりません。

市制施行 100 周年、次世代に“希望あふれる未来”をつなぐ

宇部市は 2021 年に、市制施行 100 周年を迎えます。この記念すべき節目において、我々がすべきことは何でしょうか。これまで宇部市を築いてきた先人達への感謝はもちろんですが、次の 100 年の主役となる子ども達へ“希望あふれる未来”をつなぐためには、今こそ持続可能な開発を実行し、その為の価値観や行動も含めて、次世代へと伝えなければなりません。

◇ご案内◇



このマークの企画は、はつらつポイント (20才以上)、エコハ券(20才未満)進呈

●ESD 研修会(申し込み不要) 資料代等500円/高校生以下無料

第 4 回「幼少期における道徳教育のあり方」

講師：川崎徳子先生 (山口大学教育学部)

日時：12 月 1 日(土) 15:00～ 場所：新川ふれあいセンター

第 5 回「中津市における学校と連携した環境学習の推進」

講師：足利由紀子さん (NPO)干潟に遊ぶ会

日時：12 月 8 日(土) 15:00～ 場所：宇部市立図書館 講座室

●ディベート大会 (申し込み不要) 無料

第 2 回「大学・高専・高校生によるディベート大会」

日時：12 月 22 日(土) 13:00～ 場所：ヒストリア宇部

●出張おそうじ隊(申し込みをお願いします) 無料

第 4 回 12 月 16 日(日) 中川ヒメマイトトンボ生息代替地

まちなかおそうじ隊

学習館では、まちなか環境学習館 周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。楽しく「まち」をきれいにしませんか？ おそうじ後はお茶会で ホットひと息♪

お問い合わせ/まちなか環境学習館
電話 0836-39-8110

Merry Christmas

レオナルド ディカプリオ主演
「地球が壊れる前に」 上映会
主催：宇部市ときわ動物園
日時：平成 30 年 12 月 9 日 (日)
13:30～15:30
会場：宇部市立図書館 講座室
入場料：無料 定員：100 名
西原智昭さん
ミニトークもあります！

宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」

うべっくる 検索

<http://www.ubekuru.com>

水俣研修ツアーに参加して

10月9、10日、1泊2日の水俣研修ツアーが行われた。宇部アイカ20周年記念事業の一環として第3回環境サロンも兼ね、実施された。ただ平日でもあり、参加は6名だった。

1日目は、NPO法人相思社の車で、水俣病ゆかりの場所を5カ所、案内していただいた。その後、同法人の管理する水俣病歴史考証館で説明を受けた。ガイドのわかりやすい説明で、水俣病歴史的背景や地理的特性についてもよく理解できた。その後、水俣市の環境クリーンセンターを訪問し、生ごみの分別を含む20分別のごみ処理について、話を伺った。生ごみの排出自体を減らすための「キエーロ」という土壌処理装置普及の取組も興味があった。ごみ処理コストは宇部市の1人1日当たり33円に対して58円と高めだが、リサイクル率は40%と宇部市の29.5%と比べて非常に高い。分別収集で発揮される地域の絆は、水俣再生の「もやい直し」でもあるということであった。

2日目の最初は水俣市立水俣病資料館の見学であった。副館長のガイドで水俣病の歴史経過の説明をうけ、前日と相まって、一層の理解ができた。背景に水俣の美しい海を望む窓に「あなたはどんな未来をつくりますか?」と書かれている。副館長は「来館者の受けとり方は様々であるが、しっかりと伝え続けていきたい」と結ばれたのが印象に残った。



その後、みなまたエコタウンのアクトビー家電製品リサイクル工場を見学しリサイクル技術の進歩と同時に、多様な種類のフロンガスの管理の難しさや、メーカーが絡んだりリサイクルの重要性を認識した。

最後に、吉永商会の堆肥工場を訪問した。標高450mのかなりの山中にあり、臭気も感じたが、環境規制はないとのこと。原料供給は順調の一方、製品堆肥の農業側の需要が厳しい状況であるが、ぜひ存続を期待したいと思った。詳しくは以下のブログにまとめている。

http://ubekuru.com/blog_view.php?id=4988~4997

浮田正夫

うべ環境コミュニティー会員



コラム

『まちなか家族の稲刈り体験』



私たち小野湖の水を守る会は、①生物多様性の保全、②良好な水源地の保全、③里地里山の保全と活性化を目的として、まちなか家族の自然体験型学習を行っています。

今回は活動の一つである稲刈りについて紹介します。

稲刈りは11月20日実施しました。この田んぼは、6月16日に、同じくまちなか家族にて植え付け、無農薬で育てた米です。稲刈りは、カマにて一株ずつ刈り取りました。子ども達は、思ったより手際よく上手に刈り取っていましたが、束ねるのは少々苦手のようで大人が行いました。思いがけず、ご近所のお年寄りの方もハゼ作りにご協力していただき、2時間ほどで終わることができました。

終了後は、小野ふれあいセンターに戻り昼食をいただきました。女性スタッフが準備した、おいしい栗ご飯と豚汁をいただきました。昼食後は今年から始めた、自然に関する学習会を行いました。今回は、山口むしの会の菅さんに赤とんぼについてお話していただきました。



生き物の生態を調査しその変化を知ることで、自然環境の変化を知ることが出来ることのお話を、皆さん大変興味深く聞いています。12月16日は、植え付け、刈り取った餅米にて餅つきを行います。また環境に関するお話もしたいと考えています。興味のある方は子どもさんとおじいちゃん、おばあちゃんとは是非ご参加下さい。

連絡先 電話090-7375-5801

小野湖の水を守る会 津島 榮



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

◇H30.6.1よりメールアドレスが下記の通り変更になりました◇
TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)